

会 議 録

1 会議名

令和3年度 第11回頸城区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

(1) 協議事項（公開）

○自主的審議事項の検討について

3 開催日時

令和4年3月16日（水）午後6時30分から午後8時30分まで

4 開催場所

頸城コミュニティプラザ 2階 203会議室

5 傍聴人の数

2名

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く。）の氏名（敬称略）

- ・ 委 員：上村閨一（会長）、佐野喜治（副会長）、小川泉、笠原昇治、佐藤学、滝本篤透、新保哲男、西巻肇、橋本春美、船木貴幸、望月博、山本誠信、横山一雄（委員14人中13人出席）
- ・ 事務局：頸城区総合事務所佐藤所長、本間次長、井部市民生活・福祉グループ長、本山教育・文化グループ長、総務・地域振興グループ武内班長、市川主査、（以下グループ長はG長と表記）

8 発言の内容

【本間次長】

- ・ 会議の開催を宣言

【上村会長】

- ・ 挨拶

【本間次長】

- ・ 宮澤委員の欠席を報告
- ・ 上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上

の出席を確認、会議の成立を報告

- ・会議録の確認：船木委員、望月委員に依頼

【上村会長】

次第3 協議事項「自主的審議事項の検討について」に入る。

【本間次長】

- ・事務局からの説明

【上村会長】

・協議シート「頸城区観光協会と公民館運営委員との意見交換を通じての所感について」各委員に発表を求める。

【小川委員】

観光協会については、地域協議会が始まりと受け取った。地域協議会でやれる事や関わる手立てがあるかわからないが、いずれにしても私たちも寄り添っていけたらよいと思う。

公民館についても、地域協議会がどこまで出来るか分からないが、まずは地域住民として公民館事業やイベント、作業に参加することからではないかと考える。

【笠原委員】

観光協会については、意見交換をもっと行いながら、要望があれば協力し、一緒に取り組んでいけばよいと思う。地域活動支援事業が今年度で終了するが、大池に関しては頸城区として全勢力を注ぐ取り組みがあっても良いと思う。

公民館については、各分館で温度差があると思うが、運営委員の皆さんが上手に運営しているので、地域協議会として特にかかわる必要はないと思う。

【佐藤委員】

観光協会については、大池周辺をとり巻く観光資源の利活用の取り組み状況がよく理解できた。一方で、大池に特化した部分が大きく、区全体の観光に係わる組織との連携はどうかと思った。

地域協議会としては、委員が個々に頸城区を広報するように動いていけばよいと思う。

公民館については、事業実施に際し、我々が思っているほど大きな課題があるようには聞こえなかった。

【新保委員】

観光協会については、限られた経営資源の中で努力されていると思う。特に大池・小池については市の中でも屈指のキャンプ場で利用者も多く、発展性を感じた。更に発展させる為に、地域協議会として、特に予算に関わる部分で市に提案できれば良い。

公民館については、集客面において地域による格差が大きい中で、それぞれ努力されている。

公民館事業と地域振興と重なる部分が有り、活動内容によっては地域支援事業として支援することが出来るのではないかと思う。

【滝本委員】

観光協会について、実態のない組織だと思っていたが、今回の説明を聞いて非常に前向きに取り組んでいること、事業も黒字を出していることは本当に素晴らしい成果を出していると思う。ただ、大池だけでなく頸城区全体の観光としてどういう取り組みをしていくかということが大事になると思う。今後、例えば佐渡金山が世界遺産に登録された場合のインバウンドをどういう風に取り込むのか、そういうところも視野に入れていろいろ考えていったら面白いのではないかと感じている。

公民館については、各分館で施設の所有や参加者の数に非常に格差がある。そういう状況で、今の若い人たちが次に受け継がれた時に、果たして喜んで担ってくれるかというところも疑問に思っている。その辺は今後いろいろと協議を重ねていけばいいと思うが、負の遺産として残さない為にどういう形で引き継いでいくかが課題になってくると感じている。

【西巻委員】

観光協会については、私も関係者の一員として関わっているが、昨年度後半より企画運営委員会を毎月開き、組織体制の確立、イベントの開催等を検討している。令和3年度に観光協会の理事長が変わって、令和4年度が本来の形でのスタートと考えている。

地域協議会でやれることは、委員が一区民としてイベントに参加し現状を把握し、場合によっては報告会等を開催して理解を深めたうえで、課題の洗い出しを行い、必要に応じて関わっていくのが良いと思う。

公民館については、各分館で運営や集客力、地域の違い等があり、単純には比較できない。個々に課題が違うので、そこまで踏み込むとすれば、地域協議会委員もしっかり勉強をして、向かわなければならないと思った。

【船木委員】

観光協会については、肝心の観光について進んでいない。また、協会なので会員がいて出資もされていると思うが、会員への還元がなされていない。

地域協議会の関わりとして、今後、自主的審議事項の要になると考える。

公民館については、公民館活動が地域振興の要になると思っているので、このまま公民館主事がマネジメントしていくとすれば、今後、地域協議会の関りとしては、運営委員との話し合いだけでなく、各分館の運営に関わっている地区振興会の皆さんとの話し合いの場を設けられれば良いと思う。

【望月委員】

観光協会については、組織を拡充している途中であるという事なので、実行力、行動力、計画力、発信力を磨いてもらいたい。

地域協議会としては、地域協議会委員であるなしに関わらず、観光協会が計画・立案した行事について、一区民として応援していかなければならない。

公民館については、公民館運営委員と地域協議会委員の課題認識に齟齬がある。もう少し地域協議会委員が事前に課題を掘り下げて、よく勉強してから協議する必要があると感じた。

【山本委員】

観光協会については、発足から日が浅いので、今のところ区内の各団体との調整をしながら事業を実施していくことになると思うので、これからに期待したいと思う。地域協議会は、市の諮問機関として、困ったことがあれば地域協議会に話していただいて、対応策があれば市に提案していく方法があるのではないかと思います。

公民館については、私も公民館運営委員として5年になるが、いろいろな温度差があると思う。地域協議会は、これからも勉強をしていければ良いかなと思う。

【横山委員】

観光協会については、役員・理事の皆さんが一生懸命努力されている気持ちは伝わってきたが、地域活動支援事業費を受けている地域の団体等との連携も必要でないかと感じた。

地域協議会としては、今後も観光協会の要望等を聞いて、我々も協力をしていかなければならないと思っている。

公民館については、各分館は各地区の活性化の源であると考えてるので、各地区で計

画・立案したことを実行していけば、地区ひいては頸城区全体の活性化につながると思う。

地域協議会としては、必要があれば運営委員の要望を聞き、市に提案していければよいと考える。

【橋本委員】

観光協会については、大池をいかした事業の展開などを工夫しながら取りくんでい
ると思う。ビジターセンターの修理箇所も直したうえで施設をもっと利用できる方法
はないのか。

頸城区といえば大池・小池やその周辺が見所だと感じるので、外へ発信し市内・県
内・県外の方へお知らせできると良いと思い、地域協議会員としてではなく、一個人
として活動している。

公民館については、60代、70代の方が頑張ってくださっているが、その方たち
がいなくなってしまったときに自然消滅してしまうことが心配だ。人を集めるのが困
難な今、工夫してできることを探している様子が伝わってきたが、利用者やターゲッ
トが少し上の世代になっているのは、仕方ないと思った。

コロナ禍にあっても活動できている成功例が、全国にはあると思うので、市でその
成功例を伝えてはどうか。

【佐野副会長】

観光協会については、収支的には大変な面があると思うが、継続的活動を目指し、
早期に自立できるよう努力してほしい。地域協議会としては、観光協会から相談があ
れば、いつでも対応したいと思う。

公民館については、各地区にとって地域振興・活性化の重要な拠点であり、その任
を各分館が背負っている。人口減少やコロナ禍で大変だと思うが、頑張ってほしい。
地域協議会としては、適宜、情報交換させていただければと思う。

【上村会長】

ひととおりご意見を出していただいたが、冒頭で申し上げたように皆さんから記入
してもらった協議シートは、事務局から整理してもらい、一覧表にまとめ全員に配布
し、共有をしていきたいと思う。

現段階で簡単にまとめると、観光協会は、我々地域協議会委員が地域を元気にする
ために必要な提案事業として市に提案して予算を付けてもらい、観光協会が立ち上が

った経緯があり、その後も、同事業で大池・小池の観光資源としての利活用事業を提案し、観光協会が受け皿になっているので、今後も関わっていかねばいけないというのが皆さんの意見であった。今後も、観光協会から相談があれば、地域協議会で協議していきたいと思う。

公民館については、両部会長から今年度は継続していこうということで、先般、運営委員会議で意見交換をさせてもらった。

今後の自主的審議をどういう形で絞り込むか、ある程度方向付けをしたいと思う。平成26年から平成28年にかけて各地域に出向き意見集約をした経緯もあり、それを参考にとという考えもあるが、今は3年と言わずに状況が変わってくるので、それらを含めて少し自主的審議についてどういう風に進んで行ったら良いのか、皆さんと相談していきたいと思っているが、どうか。

【本間次長】

今程、会長から話があったように、今回話し合いが進めば、ある程度方向付けをできればよいと考えていたが、会長からは、まず今日皆さんが話したことをまとめてそれを可視化してほしいという話があったので、方向付けをするのは難しいという印象を持っている。

【上村会長】

地域協議会が地域住民と意見交換をする際は、少し慎重にやって行った方が良いのではないかと思う。先般意見があった子どもたちとの意見交換にしてもどういう形で行くのかというのをしっかり詰めていかないといけないと思う。

【笠原委員】

公民館事業については、市全体の公民館の統廃合の話があった時に頸城区は上手くいっているということだった。しかし、現在は分館ごとに少し温度差があって地域的なところで苦勞しているところもあるので、良いところの事例を参考にしていけば特に問題はないと思う。

【上村会長】

横山部会長は何かあるか。

【横山委員】

自主的審議事項に専念をするということは、地域の課題を拾わなければならないと思うし、まずその方法をきちんと考えなければならない。どの様な人とどの様なこと

を話すのか、ある程度きちんと決めてかからないと空振りに終わってしまう。

公民館事業については、いつの間にか市が中心になってやるような分館活動になってしまった。先日の意見交換会でも分館の運営委員には、やる気はあるけどもどういう風にしたら良いのかわからないという方もいた。そういう点を取り上げて話し合いをしていくようにしたら良いと思った。

【上村会長】

他にあるか。望月委員どうか。

【望月委員】

委員みんなで話し合うのではなく、分科会のような小さい単位で話し合うことから始めてはどうかと思う。

【上村会長】

地域との話し合いにあたっては、地域協議会委員もいろいろ勉強をすること、そして課題の検討においては二つの分科会で検討をすることとし、自主的審議のテーマを一日も早く決めていきたい。

【佐藤所長】

出来れば、進め方についても皆さんからご意見をいただければ良いとは思っていたが、今程の公民館とか観光協会との話し合いを含めて、資料を用意させていただいてどういう風に課題出しをしていくかというところからやっていくということによいか。

【上村会長】

冒頭に申し上げたように、皆さんから記入してもらった協議シートは、事務局から整理してもらい、一覧表にまとめ全員に配布し、共有をする。それも含めて、部会に分かれて自主的審議に取り上げていくものを議論したらどうかと考えている。

では、その他に入る前に私の方から皆さんにお伝えすることがある。4月3日に上越市議会総務常任委員会との意見交換会がある。意見交換の内容に対して皆さんの意見があれば、事務局に申し出ていただきたい。

次に次第5「その他」に入る。事務局に説明を願う。

【本間次長】

・ 次回の地域協議会の日程について 4月20日（水）で提案

【上村会長】

他にあるか。

【横山委員】

今回、協議シートであらかじめ各委員の意見や考え方をまとめてきて、それをもとに協議した。このやり方だと、皆さんの考え方もわかるし理解ができるので良かった。今後もこういう方法を取っていただきたい。

【上村会長】

その他何かあるか。

【西巻委員】

意見交換会については、ただ意見交換会ではなくて、いくつかのテーマを決めてから、お互いに討論するのが望ましいと思う。

【上村会長】

今回の公民館運営員との意見交換のやり方を振り返り、今後は事務局と部会長と慎重に議論をして地域に入っていきたい。

【笠原委員】

頸城区では地域と連携して公民館活動が成り立っているので、特に課題はないと言っていた。そういう状態で、地域協議会から意見交換を提案しても、うまくいかないと思う。

【上村会長】

そういうことも含め、皆さんと議論していきたい。

【上村会長】

- ・ 次回の地域協議会 4月20日（水）
- ・ 会議の閉会を宣言

9 問合せ先

頸城区総合事務所 総務・地域振興グループ TEL：025-530-2311（内線212）

E-mail：kubiki-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せて御覧ください。